

1日目

会場	504号室	506号室	511号室	512号室
8:30-9:00	受付			
9:00-10:15	佐藤 里保 バークリにおける 事物の存在 司会:大塚 諒	高野 保男 教育における「無用の 哲学的混乱」-ウイ ゲンシュタイン哲学に における教育と哲学の 対立構造を巡って- 司会:榎野 沙央理	磯島 浩貴 初期ベルクソンにおけ る「直観」の形而上学 的射程-ラッセルの 「神秘主義批判」を 手がかりに- 司会:原 健一	(ワークショップ) 民主主義と哲学 :なぜ民主主義は 望ましいのか 小須田 翔 小林 卓人 福島 弦 福原 正人
10:20-11:35 (WS - 11:00)	峯岸 明弘 ヒュームにおける 理由と非難 司会:太田 匡洋	川居 慧士 存在論はKripke意味 論をどう扱うべきか 司会:高取 正大	堀江 郁智 ジルベール・シモン ドンの「心理・集合的個 体化」における2つの 概念 -「超個体的な もの」と「内集団」- 司会:西川 耕平	
11:35-12:20	昼食休憩			
12:20-13:35	小田 裕二郎 スピノザ『政治論』に における理性の問題 司会:藤野 幸彦	 川井 新 論理的であるとはどの ようなことでないか: Belnapの保存拡大批 判 司会:高取 正大 	乙幡 亮 ジャン=リュック・ナン シーにおける スタイルの問題 司会:鹿野 祐嗣	(ワークショップ) 観念論と 初期分析哲学 伊藤 遼 伊藤 謙佑 高木 俊一
13:40-14:55 (WS - 14:20)	中野 愛理 カント 『人倫の形而上学の 基礎づけ』における 演繹と自由の位置付 け 司会:辻 麻衣子	朱 喜哲 「推論」理解の 変遷に見る ネオプラグマティズム の一系譜 司会:五十嵐 涼介	飯野 雅敏 『差異と反復』におけ るライプニッツ受容を めぐる一考察 司会:堀江 郁智	
15:00-18:00	テーマレクチャー(309号室) 分析哲学史 高村 夏輝・野本 和幸			
18:30-20:30	懇親会			

2日目

会場	503号室	504号室	505号室	510号室	511号室	512号室
9:00-9:40	受付					
9:40-10:55	控室	片岡 一竹 精神分析家への 〈移行〉における ポスト特異性と 普遍性の問題 司会:工藤 顕太	井上 瞳 生きるままに生きる 生を開く—性的虐待 からの回復プロセス 分析の準備としての レヴィナス— 司会:長門 裕介	予備	清水 雄也 準因果理論を斥ける 司会:李 太喜	
11:00-12:15		河 珠彦 感性に基づく空間論 の主要概念としての 雰囲気—G.ベームの 雰囲気論を中心に— 司会:青田 麻未	上田 唯吾 ドゥルーズの ベルクソニズムと差異 司会:飯野 雅敏	小関 健太郎 想定の対象は どこにあるのか? :マイノングの把握論 からのアプローチ 司会:富山 豊	山崎 かれん 構造实在論における 構造の保持に まつわる問題 司会:丸山 栄治	
12:15-13:30	昼食休憩					
13:30-14:45	森田 紘平 水・鉄・音の 哲学的考察 司会:太田 陽	岩切 啓人 芸術形式の確立と 作品の存在論的性 格:版画とコミックの比 較 司会:田邊 健太郎	石渡 満理奈 「クオリアは主観性を 有するか」の修正・検 討 司会:島村 修平	大畑 浩志 信念の正当化におけ る斉合説は、 Truth Conduciveness を持つのか 司会:朱 喜哲	田中 奏々 『デカルト的省察』に おける他者経験と 間主観性について —「世界」に関する 記述をめぐって— 司会:丸山 文隆	(ワークショップ) 哲学者のキャリアパス 菊地 健至 村上 祐子
14:50-16:05 (WS - 15:30)	小川 文紀 認識状態のモデルを 応用した「なぜ-疑問」 モデルの構築—科学 哲学における2つの説 明理論を手がかりに— 司会:丸山 栄治	小出 咲 音楽の定義における 「音」の問題: 境界事例の位置づけ をめぐって 司会:高田 敦史	田中 凌 心的状態の内容 (mental content) への規範主義的 アプローチ 司会:清水 あおぐ	徳永 和朗 不同意における証拠 と譲歩 司会:大畑 浩志	上野 隆弘 ダニエル・パロキアと 気象哲学の可能性 司会:長門 裕介	
16:10-17:00	全体会 (503号室)					